重症仮死に起因する重度脳障害の臨床経過について

都立府中療育センター小児科
石　崎　朝　也

目　　的

NICUにていかに努力しても，後に重症の心身障害を残す児は存在する。我々にはそのような児を含めたホームケアシステムをつくることが要求されると思われる。そこで，そのような児の長期経過を把握し，システムをつくる上での資料とするため，初年度は，重症仮死が主因と思われる児を中心に，重症心身障害児（以下重症児）の長期臨床経過を検討した。

対象及び方法

全対象は，都立府中療育センターに入院中或いは昭和59年1月以降に退院した重症児で少なくも一年以上経過を追った例180例及び死亡例については，当センター開院（昭和43年）以来の重症児死亡例で死亡原因を推定しえたもの87例（内剖検78例）で，これらの児の起因疾患，年齢分布，重症度，死亡例については，死亡原因，死亡年齢も加え検討した。更に重症仮死例については，合併症，経過につき詳細に検討した。

結　　果

1）起因疾患について

対象の臨床的背景を知り，重症児の起因疾患を類推するため，年齢別症例数と起因疾患を表1に示した。全体では出生前要因によるもの61例（内母体の異常3例），周産期要因によるもの71例（内重症仮死43例），出生後要因によるもの48例であった。近年より年少，より重症の入院が増加或い特に重症な児は若年で死亡しているなどが頻度に影響していると思われるが，5歳以下の児20例中13例が周産期要因により，うち9例が重症仮死例であるなど，近年でも重症児では，周生期要因，特に仮死に起因するものが少なくないと思われた。

2）重症度について

対象例全体では，いわゆる大島による分類1即ちねたきり，最重度知能が8割近くで，特に仮死例に限ると9割近くが1の最重症例であった。

3）死亡例について（図1）

死亡例全例の死亡年齢は1歳から53歳で，15歳未満が約7割を占めた。死亡原因は，肺炎が約半数（44例）と多く，この8割が15歳未満の死亡。次は急性心不全とされたもの12例で，これは図に矢印で示した原因不明の突然死8例を含み，この突然死は10歳以上25歳未満にみられた。次いでイレウスが8例で年齢は広く分布した。他に気管出血，脳出血，腎不全，悪性腫瘍などによるものが少数みられた。仮死に起因する例の死亡例は26例で，死亡原因は全体の比率と大差ないが，年齢は8割が15歳未満で，他に比し若年の死亡が多かった。特に5歳以下の幼児期と10～15歳の思春期にめだった。

4）重症仮死児の状態像の経年変化について

療育上重要な問題となるのは，まず呼吸困難・易感染性などの呼吸器症状，次で逆流性食道炎によると思われる呕吐・吐血，イレウス症状などの消化器症状，てんかん発作，発汗，体温調節障害などの自律神経症状，全身緊張，年長になりめだってくる変形拘縮である。これら合併症及び症状の有無などを表2に示した。特に重症の児が多い5歳未満では，呼吸器疾患，てんかんを有し，全身緊張が強いものがほとんどで，呕吐もみられるが，吐血，変形はめだたず，多くは，10歳以降で吐血が出現，変形がめだってきた。またその頃より徐々に全身状態が悪化，吐血がめだち，全身緊張が増強，自発運動も少なくなる例があった。更

に抗痙攣剤過投与による状態悪化があった。尚，経過観察中の死亡例が6例あったが，1例を除き皆呼吸器症状が強く，てんかんを有し，全身緊張の著明な症例で，10歳以上の例ではそれに加え，逆流性食道炎によると思われる吐血，骨格の変形がめだった例であった。

表1.

年齢別症例数と起因疾患

年齢(歳)	0~5	~10	~15	~20	~25	~30	~35	~40	~50	~	
出生前要因(母体の異常)	4	8	7 (1)	2	19 (2)	9	3	2	7	0	61 (3)
周生期要因(仮死)	13 (9)	11 (5)	7 (6)	5 (3)	17 (10)	8 (5)	8 (4)	1 (1)	1	0	71 (43)
出生後要因	3	4	5	10	7	6	2	4	4	3	48
計	20	23	19	17	43	23	13	7	12	3	180

表 2.

年齢別にみた主な合併症

年齢(歳)		0～5									～10						～15					～20				～25								～30						～40			
呼吸器	喘鳴	■	×	▨		×	■	■	▨	▨	×		×	▨	■		▨	▨	×		▨	▨	▨	×	▨	×	×						▨										
呼吸器	易感染性	×	×				■	■	▨	▨	■		×	■	■		×	▨	×		■	▨			▨	▨	×						▨										
消化器	嘔吐	▨	×	×				×		▨			×				×	▨			▨	▨			■			×					▨	×			×	×	▨		▨		
消化器	吐血							×					×					▨			▨	▨			■								▨	×			×	×	×		×		
消化器	イレウス																																		×								
てんかん		■	×	■	▨	▨	■	▨	×	×	×	▨	×	×	▨	×	▨	×	×	▨	▨	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×		▨			×
全身緊張		▨	▨	▨	×	■		▨	×	×		×	×	×			▨	×		▨	▨		▨	▨	▨	×	×	▨	▨		■			×	×	▨	▨		▨	▨	×	
変形拘縮			×	×	×		×				×		×	×	×		■	▨	▨	▨	▨		▨	■	■	×		×	▨		×	▨			▨	▨	▨	×	×	■	×	×	
状態悪化								有									有			有	有	有		有	有	有						有							有			有
*麻痺型		痙	痙	痙	痙	痙	痙	痙	痙	ア・低	痙	痙	痙	痙	痙	一	痙	痙	痙	痙	痙	痙	ア	痙	痙	痙	痙	痙	痙	痙	痙	ア	痙	低	痙	痙	痙・ア	ア	痙	ア・痙	痙	一
*重症度		×1	×1	1	3	4	×1	×1	1	1	1	1	1	1	×1	5	1	×1	×1	1	×1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	1	2	1	1	2	2	1	1	1	4	1	1	1	1
死亡例†		†	†															†							†									†									†

■：顕著　▨：中等度　×：軽度

＊ 麻痺型　痙：痙性四肢麻痺
ア：アテトーゼ型四肢麻痺
低：低緊張型四肢麻痺

＊ 重症度(大島分類)　×1：失脳状態

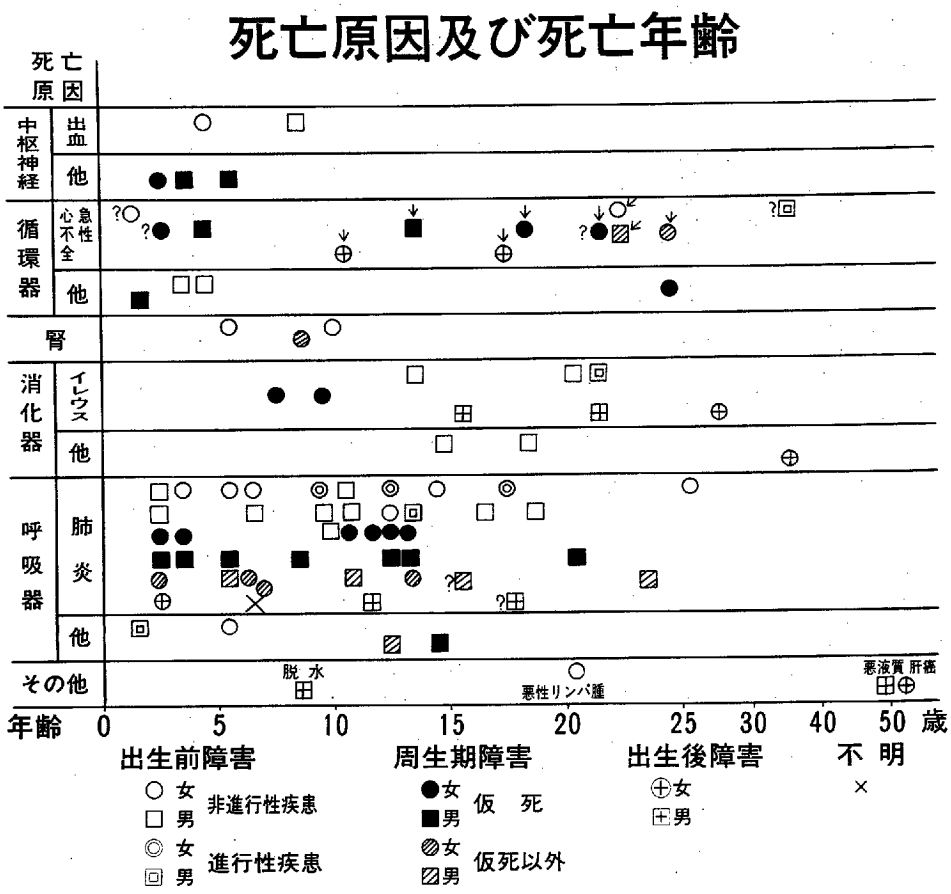
死亡原因及び死亡年齢
死亡原因
中枢神経
出血
他
循環器
急性心不全
他
腎
消化器
イレウス
他
呼吸器
肺炎
他
その他
脱水
悪性リンパ腫
悪液質 肝癌
年齢 0 5 10 15 20 25 30 40 50 歳
出生前障害
周生期障害
出生後障害
不明
女
男
非進行性疾患
進行性疾患
仮死
仮死以外
女
男
×

図 1.

検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

目的

NICU にていかに努力しても,後に重症の心身障害を残す児は存在する。我々にはそのような児を含めたホームケアシステムをつくることが要求されると思われる。そこで,そのような児の長期経過を把握し,システムをつくる上での資料とするため,初年度は,重症仮死が主因と思われる児を中心に,重症心身障害児(以下重症児)の長期臨床経過を検討した。